12月号

2025. 12. 1

やまと保育園

園だより

園 HP

やまと保育園の使命（ミッション）

“子供の最善の利益（幸せ、喜び、育ち‥）”を最優先に考え、親と連携しながら一人一人の子どもの成長を見守り、全職員と講師とのチームワークで充実した保育環境を整えます。そして、子どもの“自発的な遊び”を通して、豊かな心と生きていく力を育む保育を目指し、親とともに“子育ての楽しさ”を感じあいます。

木を　見上げて

１２月は、クリスマスのある月。きれいに飾られたツリーも夢があって好きですが、私は、自然のなかにある大きな木を見るのも好きです。新緑の頃は、幹のそばに立って木を見上げると木漏れ日の中で透き通るような若葉が重なりあう“緑”と、その隙間から見える“青空”に心動かされます。しかし今回は、その緑豊かな木ではなく、葉を落とした“木”と剪定された“木”の話をしようと思います。

先日、自然の林の中で葉を落とした“木”を見上げる機会がありました。夏の時期は緑が多く、葉の方に気持ちがいって、木の枝ぶりなど気にしたことはなかったのですが、葉を落とした木を下から見上げると、木の枝がその“幹”から四方八方に枝を伸ばしていて、その姿にちょっと感動しました。木を見上げると、木の枝が太陽の光を求めて一所懸命にいろいろな方向へ枝を伸ばしているのですね。どの枝も重なっているものはありません。隣の枝と重ならないよう、ほかの枝を邪魔しないよう、でも自分もしっかり光を求めて・・・。その一本一本の枝の健気さというか“生きる力”を目の当たりにして“自然”の面白さを感じました。

ところで、木を剪定するときは、落葉樹は、葉が落ちる季節が木へのダメージが少なくて良いそうです。また、枝ぶりがよくわかり切っても大丈夫な枝がわかりやすくなります。緑が茂っている時は、どれが大事な枝か見極めが難しい。末節の枝は、切ってもまた伸びで来ますが、木が育つには、“幹”が一番大切。そして目にはみえませんが、“根”も重要。木の根は、地上と同じぐらい根が張っているそうです。

保育をしていくうえで私たちは、その“幹”を大切に、絶対に揺るがない“幹”を切らないようにしていかなければなりません。木が育つためには、緑が茂っていると気が付かない枝ぶりや、幹をしっかりと見極めて、“枝葉末節”ではない“幹”と地中に伸びる“根”を大切にしたいと思いました。そして大きく育った“木”が、いつか木陰をつくり、周りの人々を安らげてくれるといいなと思います。

話は変わりますが、保育園が出来た時からずっと大切にしてきた川園庭の隅のハクモクレン（白木蓮）、あまりに大きくなりすぎて電線にかかってしまい危険でもあるので、先日植木屋さんに剪定してもらいました。来年の春は、白い花の数は少なくなると思いますが、数年後には、ハクモクレンがまたたくさんの白い花をつけ、川沿いを散歩する皆様を楽しませてくれることを願っています。

佐瀬　裕子

今月の目標　：　表現遊びを楽しもう

さくら組　　たかの　はんな　ちゃん

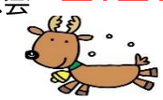
さくら組　　きし　ひゅうがくん

～行事の紹介～

♬ 発表会（3～5歳） ♬

演奏したり歌ったり演じたり。子ども達も練習に熱が入り始め、当日を楽しみにしながら頑張っています。詳細は後日お便りでお知らせします。

クリスマス会



みんなでホールに集まって各クラスで制作をした物を発表し、楽しめる会を用意しています。今年もやまと保育園にサンタさん来てくれるかな…!?

指導の様子～オルフ音楽指導～

うさぎ組から始まるオルフ。沢山の楽器に触れられるので、子ども達も楽しみにしている時間です。講師の榎本愛子先生は、子ども達の言葉や動きにピアノや歌で答えてくれるので、まるで音楽やリズムで会話をしているような時間が流れます。

うさぎ組

たんぽぽ組

ひまわり組

さくら組

～お知らせ～

赤い羽根共同募金の金額は、3,624 円でした。これを板橋区私立保育園園長会経由で振り込みました。ご協力ありがとうございました。

12月28日(日)から1月4日(日)は休園日となります。

12月の予定		
1	月	体育指導
2	火	避難訓練 3 歳絵画指導
3	水	
4	木	4歳絵画指導
5	金	4･5歳オルフ指導
6	土	
7	日	
8	月	体育指導
9	火	3歳絵画指導
10	水	お誕生日会
11	木	5歳絵画指導
12	金	2･3歳オルフ指導
13	土	
14	日	
15	月	体育指導
16	火	オルフ全体練習
17	水	発表会全体練習
18	木	
19	金	
20	土	発表会3･4･5歳
21	日	
22	月	体育指導 スキー保護者会
23	火	4歳絵画指導 乳児身体測定
24	水	クリスマス会 幼児身体測定
25	木	
26	金	5歳絵画指導
27	土	保育納め